

# 令和8年度 学校経営計画書

井原市立青野小学校

## ○本校のミッション（使命、存在意義）

- ・ 人間尊重の精神を基調に、知徳体の調和のとれた人間形成をめざす。
- ・ ふるさとを愛し、心豊かでたくましく生きる力を身に付けた児童を育成する。
- ・ 保・幼・中及び家庭や地域との連携を密にし、青野地区や井原市の教育情報発信源の役割を担う。

## ○学校内外の環境分析

- ・ 児童数、職員数が少なく、1・2年、3年、5・6年の低・高複式学級、中は単学年学級の3学級である。
- ・ 登校時は、幼稚園児とともに集団登校をしている。下校時は学童保育へ行く児童が多い。
- ・ 全校児童の縦のつながりが強く仲がよい。素直で真面目な児童が多く、目標に向かって誠実に頑張ることができる。挨拶はできるが、コミュニケーション力については個人差が大きい。生活科や総合的な学習の時間を中心とした主体的・協働的に地域との関わる探求的な活動を核として、児童の思いや考えを表現する力を伸ばしていく必要がある。自分から進んで地域と関わり、地域とつながる子どもとしたい。
- ・ 保護者や地域住民は学校教育に関心をもっており、協力的である。母子家庭や共働き家庭が多く、多忙であるものの、参観日・懇談等への参加率は高い。「学級チャレンジカード」など生活のリズム向上への取組にも協力的である。
- ・ 地域住民との交流が盛んで、学校行事への関心や参加率も高い。学校に地域住民を講師として招いたり、参加を募ったりすると積極的に応じてくれる。公民館やまちづくり協議会とも連携しており、充実した交流活動ができています。今年度はコミュニティ・スクールが開始され、学校運営協議会委員や地域コーディネーターと連携し、さらに開かれた学校へ推進したい。
- ・ 学区は自然が豊かで、特産品のぶどうがあり、校内や葡萄浪漫館でも実習体験ができる。

## ○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン(将来像、目指す姿)

### 明るい子・思いやる子・伸びゆく子を育てるために

- (1) 少人数のよさを生かし、児童一人一人の実態に応じたきめ細やかな指導に努め、確かな学力を身に付けていくことができるようにする。
- (2) 一人一人のよさを認め合い高め合う活動を通して望ましい集団づくりを進め、思いやり助け合って生活できる子どもを育成する。
- (3) 安全・安心な美しい学校環境の中で、挨拶運動や体力づくり並びに運動技能の向上等に積極的に取り組み、心も体も元気な子どもを育成する。
- (4) 家庭や地域、保育園・幼稚園・中学校と連携・協力を深め、地域とともに歩む教育を推進するとともに、学びを円滑に接続できるようにする。

## ○当該年度の具体的な学校経営目標・計画

本校教育目標「自ら学び、心身共にたくましく生きる子どもを育てる」ために次のことを重点的に実践する。

### ○基礎・基本の確実な定着を図り、個が生きる教育の充実に努める。

- ・ 少人数の長所を生かし、個に応じた支援や指導を重視して基礎・基本の確実な定着を図る。
- ・ 個の実態（困り感や特性）に応じ指導や支援を組織的に進めるとともに、必要に応じて関係機関と連携を図り卒業や将来を見据えた力を育てるための支援をする。
- ・ 自分の思いや考えを豊かに表現し、主体的・協働的に学び高め合える児童を育成する。
- ・ 「青野っ子の夢応援プロジェクト」による体験学習や補充学習、放課後学習等を実施し、夢や目標に向けて努力する青野っ子を育てる。
- ・ 読書と家庭学習の充実に努めるとともに、家庭での習慣化を啓発していく。

### ○自他をともに大切にする思いやりのある児童の育成を図る。

- ・ 生徒指導を重視し、節度ある生活態度を育てるとともに、認め合い高め合う集団づくりを推進する。
- ・ コミュニケーション力を育て、心のふれあいを大切にし、自尊感情を高める活動を推進する。
- ・ 道徳教育の充実に努めるとともに、教育活動全体を通して児童の道徳性を養う。

### ○心も体も元気な児童の育成を図る。

- ・ 学習規律や生活ルールを共通理解し、気持ちの良い挨拶・行動のできる児童を育成する。
- ・ 望ましい生活習慣の定着や、体力づくり並びに運動技能の向上に取り組む児童を育成する。
- ・ 安全教育の充実に努めるとともに、安心・安全で美しい学校環境を構築する。

### ○学校・家庭・地域・幼稚園・中学校との相互連携を深めながら、地域に開かれた教育を推進するとともに円滑な接続を図る。

- ・ 学校の教育活動を積極的に発信することにより、信頼や連携を深めて教育効果を高める。
- ・ 「青野っ子の夢応援プロジェクト」を通して、地域の教育力を学習に生かす。
- ・ 保育園・幼稚園・中学校との「ふるさと教育」に視点を置き、連携・協力をする。